

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	祇園地区青少年健全育成連絡協議会
活動テーマ	祇園地区「緊急災害時 子ども 119 番」避難訓練



中学生・支援者のサポートで避難所へ



住宅街を避難中の園児たち



中学生・支援者のサポートで避難所へ



参加園児全員集合（祇中体育館）

目的：①災害時に将来を担う災害弱者（園児・乳幼児）を地域で如何にして守るか
 ②地域内の各種協力団体と1児童館、1幼稚園、4保育園との連携の強化のネットワークづくり

動機：平成 26 年 8 月 20 日の広島豪雨災害時、生活避難場所である[祇園小学校]へ避難する中、水深 50 cm を超える場所を通過する必要がある事が判明しました。

発生時刻が未明から明け方にかけてであった為、園児等は就寝中又は、通園前であり、まだ各家庭にいたので、水深 50 cm の中を避難する事はなかったが、これが昼間の園児の通園時間内であると、幼い子供を水深 50cm の中、避難行動をとる事は非常に難しく、困難を極める事であったと推測されました。従って、こんな場合を想定しての園児等の避難訓練を行う事によって、課題の抽出、避難行動の習熟を行い、万が一の災害に備えるべく、第一回避難訓練を平成 28 年 6 月 13 日に、その評価を踏まえて、第二回避難訓練を平成 29 年 5 月 9 日に実施しました。この訓練はわが町の二つ目の生活避難場所であり、高台に位置する祇園中学校へ避難することで実施しました。

評価：訓練の結果、新たな課題も抽出され、今後についてはこれらの課題の克服を目指して、今後も継続して取り組む必要がある事が明確となりました。主な課題は、

- ① 遠距離の避難は困難、更に、乳幼児を避難させるには、出来るだけ平坦な場所を選定する必要がある
- ② 公的避難場所以外にも、各園に即した、協力企業等の身近な一次避難場所を増やしていく必要がある
- ③ 最終的には、全園児の避難を考える必要がある（現状の訓練は各園約 30 名づつ参加） 等です。